

5. 「地域のこの人」紹介

絵手紙教室(昨年度までは「絵手紙サロン」と呼んでいました)では、昨年地域のご高齢の方々のご世帯に絵手紙を送られています。年に1回位しか送られていませんが、心を込めて作った絵手紙が皆さんの心に届き、教室の皆さんはとても喜ばれております。

今後は自治振興区の交流事業にも協力くださるそうで、地域外の人にも「八銚の心」がお届けできると、非常に期待しているところです。



曾利敏江さん

そこで、今回は西城町三坂にお住いで、八銚自治振興区の絵手紙教室の講師をされている曾利敏江さんをご紹介します。

曾利さんは、ある時から「生活の中に、自分の時間を作る」を目標に、好きなこと、やりたかったことを時間配分してとり入れられ、和紙ちぎり絵をメインにクラフトバッグやプリザーブドフラワー、アーティフィシャルフラワー、フラワーアレンジなど様々なものを手掛けられ、西城、東城、八幡などで活躍されています。

ご家族のご理解のもと、ご両親等の介護をしながら自身で楽しみつつ、心の切り替えやリフレッシュを図り過ごされてきたそうです。



7月6日の作品から



絵手紙教室

自治振興区の絵手紙教室では、講師というよりもメンバーの一員としての目線で「下手が良い」モットーに、皆で明るく一つの場に集まり顔を見て話す、笑う。アイデアを出し合う、外に出て書く、ランチをするなど、楽しい雰囲気の中で過ごせるよう取り組んでいるとのこと。

参加者の方からも「心の疲れがとれる」との声もあり、曾利さんも参加者の皆さんからパワーがいただけると喜ばれ、いつまでも続く教室であればよいと願われています。

教室の雰囲気をお伺いして感じたことは、「下手が良い」のおおらかさ…いつまでも教室の仲間でありたいと思えるその空気、そんな居心地の良い中で描かれる景色や言葉は、きっと感性豊かなものとなり人々の心を打つのだろうなあ…これも「地域の宝」だと感じた次第です。



6. 生涯学習情報、その他

生涯学習の教室等に関する最新情報をお知らせします。

(1) 「創作教室」の体制がきまりました。

創作教室は代表者がきまらず今年度を迎えましたが、この度、高井美和子さん(八銚落合自治会)が、代表を引受けてくださいました。近日中に活動内容の提案と参加者の方を募集する予定で、活動内容には「くまさんのお家」で取組まれていた折り紙等も含める予定です。

(2) 「写真クラブ」の代表と活動内容がきまりました。

写真クラブは、PPクラブが発展的に解消され、一部、西城の写友会に属されている方も含めてスタートすることになりました。

- ① 代表者 …… 竹島治男さん(八銚落合自治会)
- ② 活動内容 …… 技術アップもさることながら、サロンのような雰囲気を大切に楽しい活動にする。
- ③ 参加者募集 …… クラブの皆さんは、未経験の方を含め多数のご参加をお待ちされています。
- ④ 定例開催日 …… 毎月第三水曜日 19時から 次回は8月19日(水)です。

写真クラブ準備会



高尾おしゃべり会見学

(3) 「高尾おしゃべり会」の皆さんが見学に来られました。

6月26日(金)13時30分～15時ころまで、「高尾おしゃべり会」の皆さん10名の方が、やほこ交流センターと旧国鉄展示品の見学にこられました。片山、今田マネージャーと柳生事務局長が、センター内部と展示場を案内し、体育館で今後の展開についてお話をしました。



やほこ振報

第56号 (発行R2.7.20)

八銚自治振興区 総務企画部

TEL・FAX:(0824) 84-2363

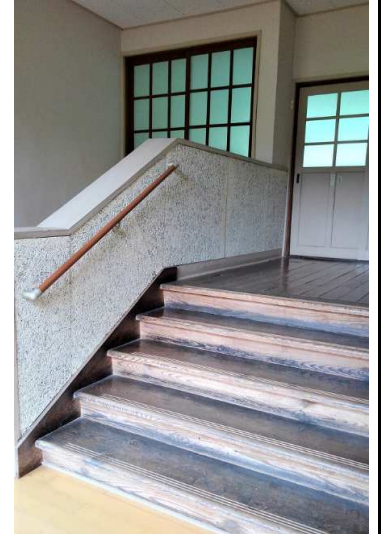
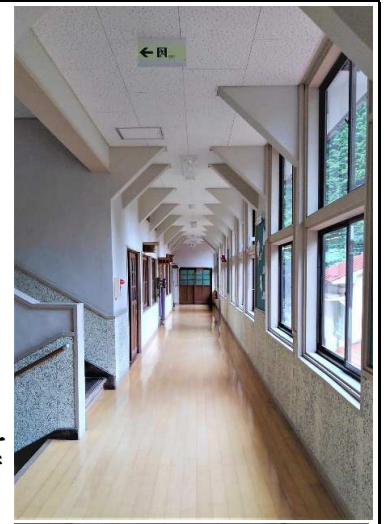
yahoko.jichi@u-broad.jp

1. 交流施設の名称や運営体制を決めました

廃校リノベーションで、よみがえった自治振興センター2階のフロア…そして、建物の西側屋外に設けられた木製テラス… デザインされた隈研吾さん(東京大学教授)から寄せられたメッセージには「小鳥原小学校の魅力は、深い緑に覆われた山に囲まれた立地と、昔ながらの木でできた建物です」と書かれています。

過日広島から、さっそうとBMWを運転して旧国鉄グッズの展示を見に来られた中年女性に、この木造建物は如何ですか? と感想を聞くと、「雰囲気がよく大変落ち着きます。これ以上手をかけるとその良さが失われます」といわれ、何と3時間も滞在されてお帰りになりました。

私たちは、普段その良さを感じてなかった木造校舎の魅力地域外の方に教えて頂いています。この「地域の宝」を磨き、訪れる方が快適に過ごされるよう、先ずは屋外を含めた施設をきれいにするために、「整理、整頓、清潔、清掃」を行い、それを「習慣」にしていくことを進めています。



2階の廊下・階段

(1) 施設(2階)の名称

「やほこ交流センター ヒバゴン・ビレッジ」
(1階は「庄原市八銚自治振興センター」)

(2) 運営管理体制 (当面)

- ① 管理責任者 自治振興区会長
- ② 実務責任者 自治振興区事務局長(防火管理者)
- ③ 実務担当者 チーフマネージャー、担当マネージャー、事務局員

(3) 基本的な運用規則

- ① 5S(整理・整頓・清掃・清潔・習慣)の実施
- ② 使用者が清掃、ゴミの持ち帰り(展示物の観覧のみは清掃免除)
- ③ 全施設とも「禁煙」
- ④ 物品の丁寧な取扱、時間厳守、使用後の火気等の確認、SW切断
- ⑤ 新型コロナウイルス感染予防(必要な期間、(詳細は3ページ記載))

(4) 開館時間、休館日

- ① 図書室、展示室 … 9時～17時
- ② 交流室、研修室、休憩室 … 9時～22時
- ③ 閉館日 … 原則として土日・祝祭日、年末年始
(但し、土日・祝祭日の予約利用は可能)

(5) 利用料

- ① 振興区会員無料
- ② 会員以外は、1部屋1時間750円



コードレス掃除機
1階廊下に2台配備
2階廊下に1台配備

2. 役員会の報告（役員会開催日：6月19日）

(1) 八銚地区の避難所について

災害時の避難所については、市へ自治振興センター等も避難場所として認めるよう意見（要望）を出していましたが、本件については以下のとおりです。

（既に自治会を通して伝わっているとは思いますが改めて記載します）

① 指定避難所等

	避難所	所在地
指定避難所・第1開設避難所	庄原市西城総合運動公園(クロカン体育館)	三坂733
6月19日新聞報道 第2避難所	三坂老人集会所	三坂693-3

※6月19日新聞報道とは…新型コロナウイルス感染下、避難所の3密を避けるために設けられた第2避難所

② 地域避難所

所在自治会	避難所	所在地	※ 地域避難所は「我家より安全である場合、一時立寄りする集合場所、安全な所に避難する際の一段階としての利用」で「ずっと留まるのはマズイ」という避難所です。 ※ 避難は自己責任です。
三坂	三坂老人集会所	三坂693-3	
八銚落合	八銚自治振興センター	小鳥原615-1	
	地明集会所	小鳥原615-1	
高尾	高尾集会所	高尾5235-64	
油木	前油木老人集会所	油木318-5	
	後油木集会所	油木1048-1	

(2) 新型コロナウイルス感染環境下における 事業計画の変更について

No.	事業名等	時期	変更後・理由等	
①	親睦グラウンドゴルフ大会	6月	中止	
②	西城町自治振興区連絡協議会総会	6月	書面決議で実施済	
③	振興センター屋外環境整備	8月1日	実施	規模縮小(草刈、剪定)役職員で対応
④	屋外映写会(星空映画館)	8月	中止	市町の大型イベントの中止にならう
⑤	広島経済大学との交流事業	8月	中止	学生のバス移動に伴う3密回避
⑥	先進地視察研修	8月	中止	参加者のバス移動に伴う3密回避
⑦	農産物栽培講座	8月	実施	必要に応じ、3密対応等を行う
⑧	ゲートボール大会	8月30日	実施	屋外、3密対応等を行う。会食中止
⑨	やほこ学校	8月30日	中止	GB大会後、会食を伴う事業を避ける
⑩	広島経済大学の農業体験学習	9月	中止	学生のバス移動に伴う3密回避
⑪	交通安全マスコットくぼり	9月	中止	児童の学習機会を優先
⑫	支え合い支援Gr 情報交換会	9~10月	実施	回数を減らし、3密対応等を行う
⑬	ライオンズカップ杯町民グラウンドゴルフ大会	10月	西城自治振興区等と協議して進める	
⑭	であいとふれあいフェア	10月	西城自治振興区と協議して進める、中止の方向	
⑮	西城町美展	10月	西城自治振興区と協議して進める	
⑯	収穫祭(ヒバゴン50周年イベント含む)	11月	延期	戦略的事業であり来年度へ延期
⑰	地域の将来を語り合う会	11月	中止	会食を伴う事業を避ける
⑱	しめ飾り講座・子供の1日体験学習	12月	中止	冬季は感染リスクが高くなる可能性あり
⑲	西城町民新年互礼会(1月4日)	1月	西城自治振興区等と協議して進める	
⑳	西城町自治振興区連絡協議会情報交換会	未定	西城自治振興区と協議して進める	
㉑	自主防災組織づくりの講座	未定	実施	必要に応じ、3密対応を行う
㉒	ネットを使った安否、防犯確認講座	未定	実施	必要に応じ、3密対応を行う
㉓	より良い仲間づくりに向けて(人権講座)	未定	実施	必要に応じ、3密対応を行う
㉔	その他専門部等の生涯学習事業	都度	実施	専門部等の意向を尊重し可否を決める
㉕	自主運営教室等の生涯学習事業	都度	実施	教室等の意向を尊重し可否を決める

3. 自治振興・交流センターの「新型コロナウイルス感染防止」について

八銚自治振興センター/やほこ交流センターにおいては、6月1日から新型コロナウイルス感染防止策として、以下を行っておりますので、センターご利用時にはご協力くださいますようお願いいたします。

(1) マスクを着用し、手洗い、手指の消毒をお願いします。

(2) 次の方はセンターのご利用はご遠慮ください。

- ① 37.5度以上、または平熱比1度超過の発熱がある場合。
- ② 息苦しさ(呼吸困難)がある場合。
- ③ 強いだるさがある場合。
- ④ 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合。

(3) センターへご来館・ご利用にあたっては、備付けの名簿に「氏名及び緊急連絡先」を記入ください。

(4) 20名以上の団体でのお越しはご遠慮いただいております。

19名以下であっても、施設内が混雑している場合などは、ご利用を制限する場合があります。

(5) 3密を避けるために、以下を実施してください。

- ① こまめな換気(1時間~2時間に1回、5分間窓を開放)
- ② 対人距離を2mを目安(最低1m)に空ける。
- ③ 椅子の数を減らして間隔を空ける。
- ④ 互い違いに着席するなど。

(6) トイレは便座の蓋を閉めて水を流してください。

4. 地域マネージャー業務の進行状況

5月初旬から7月初旬にかけてのマネージャー業務の進行状況をお知らせします。

(1) 交流事業関係

- ① 旧国鉄関係の展示は一段落しましたが、現時点においても引続き展示品の持込があり、展示方法の工夫や盗難防止等について検討しています。
加えて、南側階段・踊場に鉄道に関連する写真(トロッコ列車等)を、写真クラブの皆さんのご協力でご展示することで進めています。これにより雰囲気は大きく盛りあがるでしょう。
- ② ヒバゴン50周年記念に関する、関連資料の展示は、第1~第3ステップに整理して、出沒マップ、歴史、エピソード、キャラクターの誕生とその後の活躍等を掲出する予定で、そのための資料作りを行っています。7月中には展示が完了する予定です。
- ③ 落合駅ガイドクラブから販売用の記念グッズ等を預かり、訪問者への販売を検討しています。また、センターへの訪問記念になる地域の産品も販売する予定で、油木の「どぶろく」販売も視野に「酒類の小売免許の取得」を準備しています。

(2) 野菜販売関係

- ① タマネギは、今年度の栽培量の調査や挨拶回りも終わり、6月出荷量と7月3日時点の受注量を合わせて370kgの実績となっています。運営体制に異動のあった西城保育所



この状態で推移すれば、7月~11月までで1800kg位の出荷が見込めます(目標達成見込90%)が、コロナ問題で観光事業者向けの伸び悩みが懸念されますので楽観視できません。

- ② その他の野菜については、ジャガイモ、ニンジンについては期待が持てます。しかし、その栽培量と必要量が不透明で、今後調査し、必要であれば野菜栽培講座なども行いながら、一定の需給バランスを確立するための取組を考えています。
- ③ さらに、栽培農家の方や供給先とのコミュニケーションを良好に保ち、タマネギを持ちこむ際にその他の野菜等と一緒に供給できるよう進めたいと思います。

(3) 以上業務の進捗状況をお知らせしました。私たちマネージャーの業務は、展示品の出品者の皆様を始め、野菜作りにご協力くださる皆様、そしてその野菜をお求めくださる供給先の皆様等々、多くのご協力があつて成り立っており、関係者の方々に心から感謝とお礼を申し上げます。